

## 2020年11月度異業種交流会

開催日：2020年11月19日（木） 18:00～20:30

会場：スーパードライ・名古屋

参加者：三浦（39C）、石川（39C）、笠原（32W）、清水（49C）、池原（48C）、二宗（46M）  
オンラインで参加：吉平（50C）、鶴岡（44M）、佐野（62W） 合計9名

今年は新型コロナウイルスのため一時中断したが、いろいろな工夫して何とか開催を続けている。今回も店に入るときの体温チェック、手の消毒、マスク着用などをしての開催である。7月から取り入れたZoomによるオンライン参加も、今回は3人に増えて（吉平さんは帰省先の徳島から、佐野さんは四日市、鶴岡さんは岡崎からと、広い範囲からの参加）総勢9人の会となった。また今回は5回目となる「私のミニプレゼン」を清水さんに発表してもらった。その為にもプロジェクターを使用して、プレゼンとオンライン人の映像を大きくスクリーンに映してスタートした。



清水さんから、3年前に旅行した「ペルーの遺跡の旅」を、ナスカの地上絵とインカ帝国の遺跡を写真入りで紹介してもらった。紀元前200年から800年に描かれた絵を、セスナ機に乗り上空から撮影した写真での説明があった。（絵の規模が大きく、地上ではその形を見ることはできない）。

インカ帝国の小さな町「マチュピチュ」はアンデス山脈のなかにあり、今も残っている遺跡は宗教との関係を思わせる。実際行った人の口からこのような様子が聞けて、その実態、すばらしさを実感し、話が民族論まで広がっていった。

今は岡山県在住の池原さんは、趣味で俳句や短歌を詠まれていて、地方新聞に投稿し度々入選されている。今回は第1席となり、記者からインタビューされた記事を持ってきてくれた。

「コンバインに乗りたる父の背筋伸び 米寿なれども大将のごとし」



懇談の途中、お店の方から「今日はボジョレーヌーヴォーの解禁日。特別メニューはどうですか。」のお誘い。早速いただきました。今日は11月の第3木曜日です。

### 第一席の声

池原 豊治さん

父は農業一筋で、数え年88歳で亡くなる前日も田に出ていたほど。普段は腰を曲げていても、コンバインの上では背筋がシヤキッとした。堂々とした姿を戦国武将に重ねた。



6年前に父、半年後に妻が急逝。生き難い苦しみの中、俳句を4年半前、短歌は2年前に始めた。初の第一席に「父や妻に伝わればありがたい。さみしさは消えないが、短歌や俳句で誰にも言えない気持ちに表現し、優しい先生、歌友に癒やされている」。71歳。

\*\* 幹事つぶやき一言 \*\*

コロナの問題、活動参加者、若い人の少なさ等の問題の中で、この会も話題提供の目的で、「ミニプレゼン」を19年度から実施、参加の機会増大の意味で、今夏よりリモート参加を取り入れ、少しずつでも改善してきた。顔を突き合わせるのが基本ではあるが、より多くの人に参加チャンスをとる事で、今後もリアルとオンラインでのハイブリット運営をしていく予定である。取り上げる話題も、会員の自主性・個性を尊重し、会員の楽しさ・豊かさづくりに結び付けられるよう進めていきたい。